

The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

2015年11月号 通巻83号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2015

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

秋葉原アライグマ事件

あのアライグマはどこから来たのか



正面に3本並んだ街路樹の右側の木にアライグマは登った(2015年10月、事件後の別の日に撮影)。パソコン店に入ったことからパソコンのパーツを買いに来たのだと推測されるが、隣のドンキあるいはAKB48劇場にも行くつもりだったのかもしれない。

2015年10月4日、日曜日の夕方、秋葉原に突然アライグマが現れ騒ぎになりました。

逃げたペットではない

午後6時50分頃、秋葉原のメイン道路と言える中央通りに面したパソコン店前でアライグマが発見されました。アライグマはその店の前の街路樹に登ったものの、そこから移動することができなくなりました。警察がやって来ただけでなく消防署のはしご車まで出動することになり、見物人もかなり増えたようです。アライグマは約2時間後によりやく捕獲されました。その時に警察官2人を含む3人がかまれたりして軽傷を負ったとのことでした。

現場は上の写真のようにドン・キホーテとAKB48劇場が入ったビルのすぐ隣、秋葉原の中でも目立つ場所での事件でした。

報道によると、警察はこのアライグマは飼われていた個体と考えているようです。私の推理は逆で、自然

下で繁殖した個体であるのは確実に考えています。

2005年に外来生物法が施行され、特定外来生物に指定されたアライグマは飼育も譲渡も輸入も禁止されました。その当時飼育されていた個体は例外扱いですが、10年も経過した現在、ほとんどは寿命となっているはずで、です。このアライグマが逃げたペットなどではないことは明らかです。

追跡できないアライグマ

しかし秋葉原にアライグマが生息しているはずがない、と考えるのは当然のことです。アライグマに限らず秋葉原は野生動物が定住できる場所ではありません。東京タヌキ探検隊！が蓄積した目撃情報でも、いわゆる秋葉原での目撃事例はハクビシンが1件あるだけです。そのためこのアライグマはどこか別の場所から来たこととなります。今回の現場から半径2km以内にはこれまでアライグマの目撃情報はありませ

タヌキやハクビシンの生息分布からアライグマがいそうな場所は推測できます。そのひとつは上野公園から谷中霊園にかけての一带です。この地域は緑地が多く、動物の生息に向いています。他には後樂園以西の神田川北岸、皇居も候補です。

ただ、東京都23区内でのアライグマ目撃情報は累計でも約100件しかありません。これだけでは詳細な分布状況もわかりません。タヌキ、ハクビシンはそれぞれ1300件以上も目撃情報があり分布もかなりわかっている、それを援用してアライグマの状況を推測するしかありません。もっと詳しく調べるには目撃情報の蓄積がさらに必要です。皆様の目撃情報をお待ちしています。

スポンサー枠

スポンサー募集中です！

全国のタヌキ、ハクビシンなどの情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>